

# 令和6年度 全国学力・学習調査結果(6年生)のお知らせ

鎌馬区立石神井西小学校  
校長 青山直志

令和6年4月18日実施の「全国学力・学習状況調査」(6年生)の結果についてお知らせします。

※太字は、都の平均値を越えている値。

国語	知識・技能			思考力・判断力・表現力等			合計平均
	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	
本校	65.5	<b>96.1</b>	73.7	<b>66.7</b>	66.4	<b>75.9</b>	74
東京都	67.9	88.8	75.3	63.9	69.9	71.9	72
全国	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7	70

(%)

算数	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	合計平均
本校	69.7	<b>72.7</b>	58.8	<b>69.1</b>	67
東京都	70.6	70.8	59.3	65.2	66
全国	66.0	66.3	51.7	61.8	61

(%)

## 【考察と改善策】

**国語** 国語においては、6つ中3つの内容において、全国・東京都の平均を超える結果となっています。一方、「言葉の特徴や使い方に  
関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項(知識・技能)」及び「書くこと(思考力・判断力・表現力)」については、平均を下回る結果でした。これらの設問は、漢字を正しく書くこと、資料を活用したり、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別したりするなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することを意図した問題でした。ただ、全国的にも正答率が低く無回答率も高い書くことについての問題において、本校の児童の無回答率は非常に低く、粘り強く問題に取り組んでいることがうかがえました。今後は正と漢字を書くことと共に、図表やグラフなど資料からの情報の読み取りや事実と感想、意見を明確に区別し、自分の考えを伝える活動を充実させ、自分の考えが相手に伝わる文章を書くことができるよう、指導方法の改善に取り組んでいきます。

**算数** 算数においては、図形とデータの活用の領域において、全国・東京都の平均値を超える結果となっています。特に、「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する(思考力・判断力・表現力)」「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる(思考力・判断力・表現力)」設問では、全国・東京都の平均を大きく上回っています。一方「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る(知識・技能)」設問では、理解が十分でない解答も見られる結果となりました。今後も、習熟度別指導を生かし知識・技能の習得に取り組むと共に、「どのように考えたのか」「なぜ、そのようになるのか」など、数学的活動を一層大切に授業を行っていきます。